

教職実践演習2011

(第15回／平成23年12月16日)

これからの学校教育 ～ 特別支援教育の観点から ～



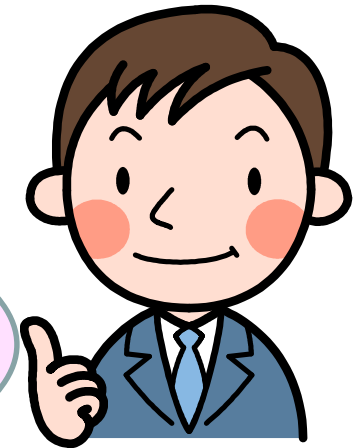
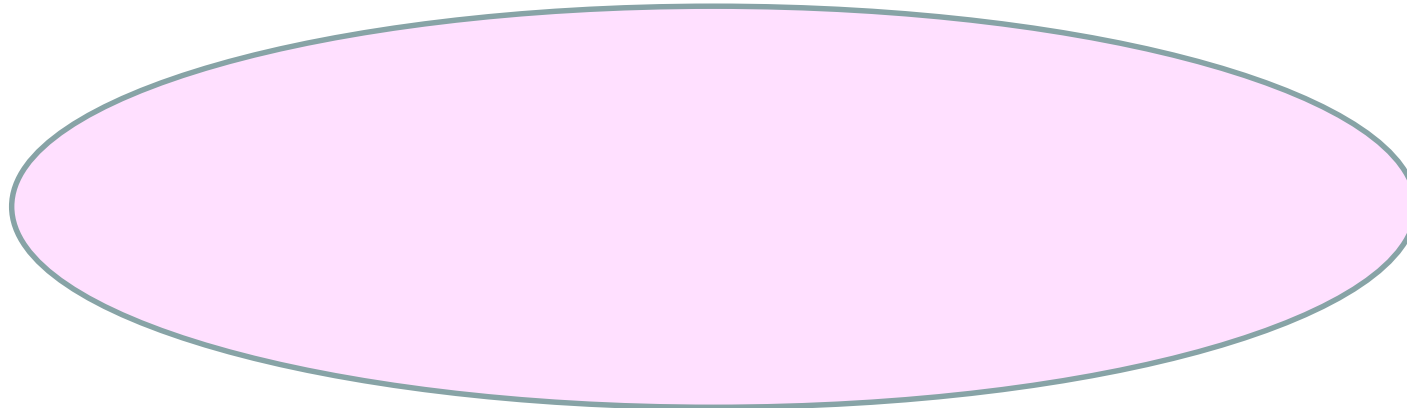
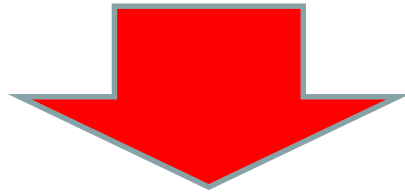
秋田大学教育文化学部

附属教育実践研究支援センター

斎藤 孝

子どものとらえ方

「障害がある」
「多動で落ち着きがない」
「文字の読みに難儀している」

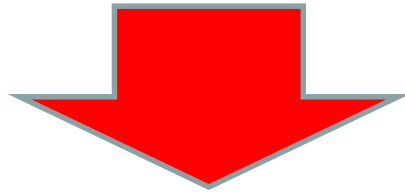


子どものとらえ方

「障害がある」

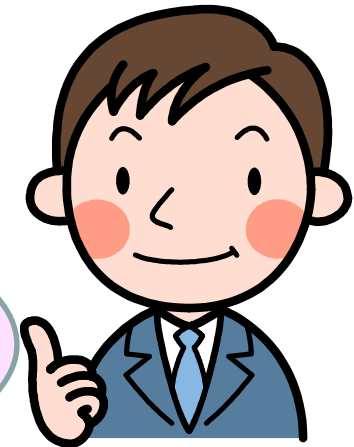
「多動で落ち着きがない」

「文字の読みに難儀している」



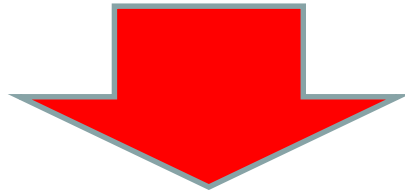
「できない子」

「問題のある子ども」か

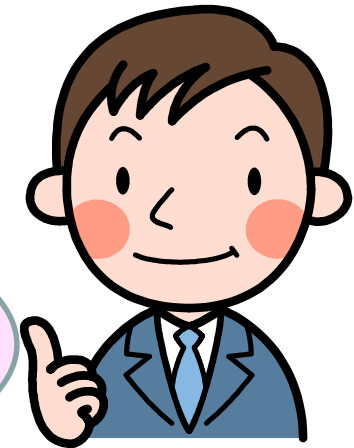


子どものとらえ方

「障害がある」
「多動で落ち着きがない」
「文字の読みに難儀している」



「特別な教育的ニーズ
のある子ども」



子どものとらえ方

1994年 スペイン

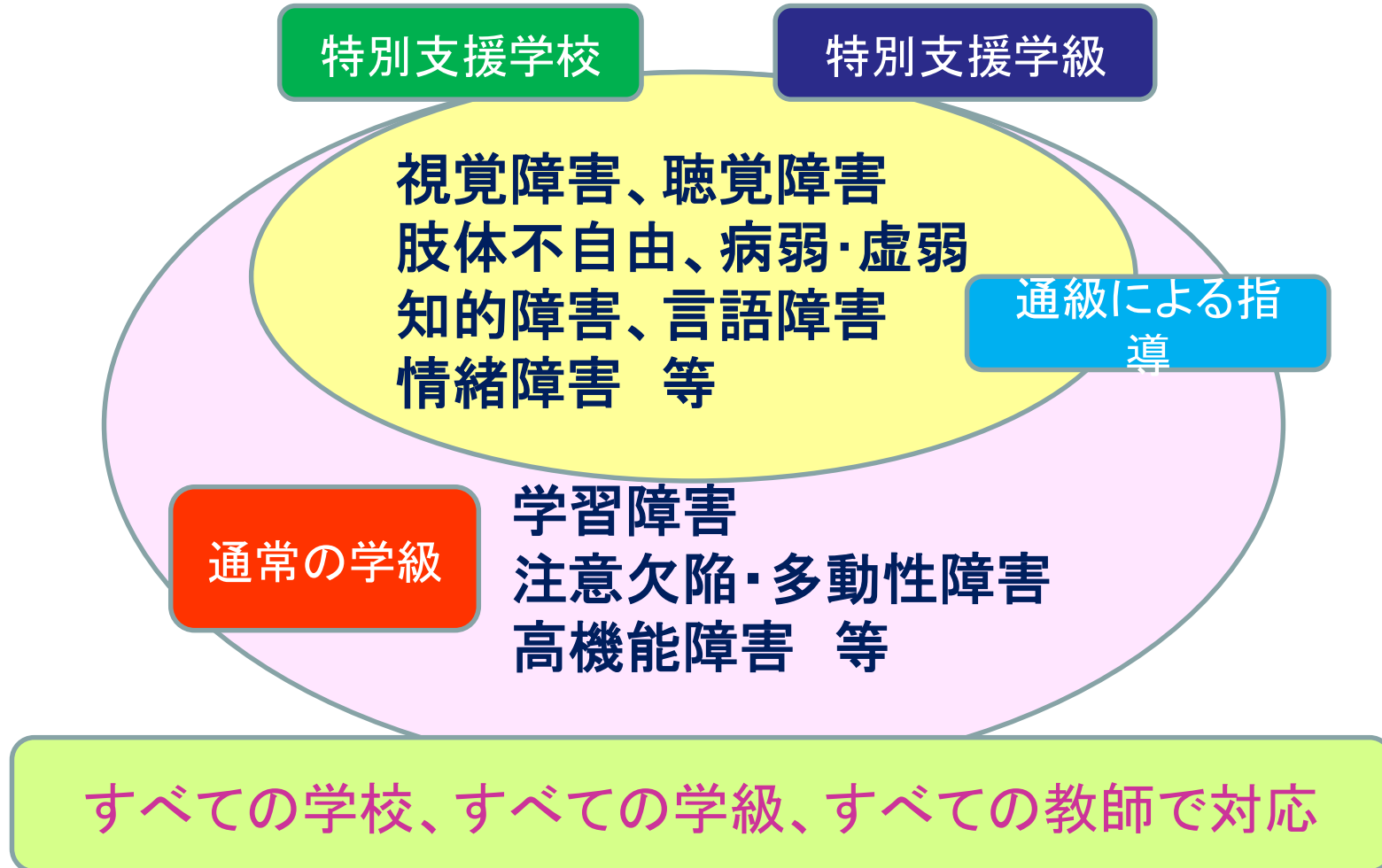
「特別なニーズ教育に関する世界会議」

「サラマンカ宣言」

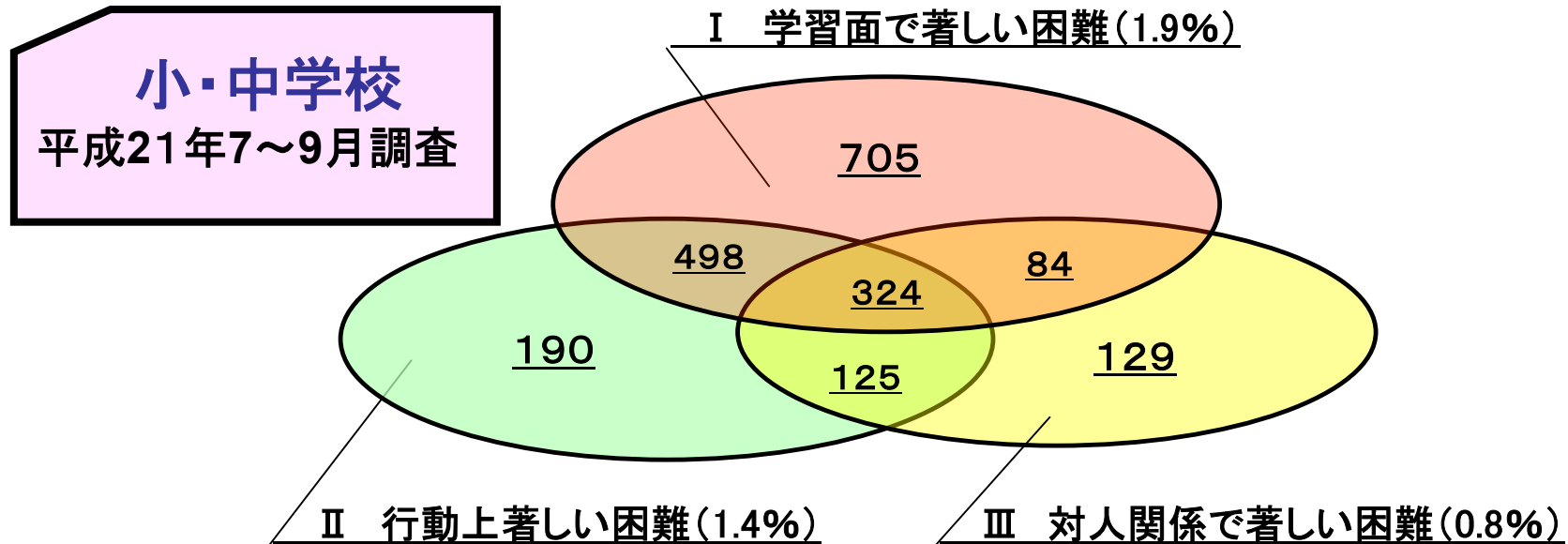
「特別な教育的ニーズ
のある子ども」

平成19年度 特殊教育 から 特別支援教育へ

特別支援教育の対象



特別な支援を必要とする子ども



学習面、行動面及び対人関係のいずれかで
著しい困難さを示す児童生徒数 2,055人
(全体の児童生徒数に対する割合 2.5%)

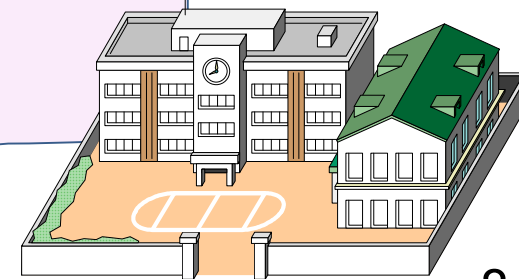
※ 前回調査(平成18年度) 1,625人 (1.8%)

これからの学校教育

中教審 初等中等教育分科会
特別支援教育の在り方に関する特別委員会

論点整理（平成22年12月24日）

- インクルーシブ教育システムの理念と方向性に賛成
- 総合的な観点から就学先を決定する仕組みへ
- 合理的配慮の検討
- 教職員の確保及び専門性向上



教師としての在り方

- 子どもの生命を守る
- レッテルを貼って見ない
- 子どものせいにしない
- 仲間と協調する
- 自分自身を磨く

◆ 求められる教師像として

- ① ハート
- ②
- ③
- ④
- ⑤



はじめに
子ども あいさ

